

措置・里親審査部会における児童虐待死亡事例検証報告書の提言を受けた 具体的な取り組みについて

児童虐待の防止等に関する法律（以下「法」という。）第四条第五項により、地方公共団体は児童虐待を受けた児童がその心身に著しく重大な被害を受けた事例について分析を行うとともに、児童虐待の防止に向けた検証等を行うこととされています。本市においては、「地方公共団体における児童虐待による死亡事例等の検証について」（平成 30 年 6 月 13 日付子家発 0613 第 1 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長通知）（以下「通知」という。）による検証方法等を参考として、措置・里親審査部会において児童虐待死亡事例の検証を行い、再発防止に向けた提言を含む報告をいただいております。さらに通知 8(2)により、報告を踏まえた措置の内容及び当該措置の実施状況について、児童福祉専門分科会に報告するものとされています。

本市において平成 30 年度から令和元年度に発生した 3 件の事例については、令和 3 年 9 月の児童福祉専門分科会において措置・里親審査部会による報告書及びその提言についてご報告したところですが、今般、提言に対する具体の取り組み内容について、ご報告申し上げます。

1. 検証の概要

(1) 検証の目的

法第 4 条第 5 項の規定に基づき、虐待による死亡事例等について、事実の把握と分析を行い、必要な再発防止策を検討するために行うもの（関係者の処罰を目的とするものではない）。

(2) 検証の主体等

社会福祉審議会児童福祉専門分科会の「措置・里親審査部会」が検証組織となり、隔月で開催される同部会において検討を進めた。

(3) 対象事例とその経緯

平成 30 年度及び令和元年度に発生した下記の 3 事例を検証対象として実施した。

（事例 1）平成 31 年 1 月 18 日、母が自宅で双子の児童（生後 2 か月）に十分な栄養を与えずに放置し、1 名を死亡させ、もう 1 名に傷害（脱水症状）を負わせた事例。双子の上のきょうだいに当たる第 1 子、第 2 子は母のネグレクトにより、一時保護のち児童養護施設に措置されていた。双子の妊娠が判明すると母はパートナーと連絡が取れなくなった。妊娠届の提出時に、区役所では要保護児童対策地域協議会に特定妊婦として登録した。双子出生後も母のネグレクトの通告があり、児童相談所による指導を行っていたが、実際の生活状況を十分に把握できないなか事件が発生した。

（事例 2）平成 31 年 3 月 27 日、父が自宅マンション寝室で児童（7 歳 9 か月）の首を絞めて殺害し、自らも右脇腹に刃物を刺して無理心中をはかった事例（父の命に別状なし）。この事例では事件発生前に、母から区役所に離婚に関する相談があったが、児童の養育に関してリスクのある家庭としては認識していなかった。裁判において、父は双極性感情障害に罹患しており、事件当時うつ状態であったことがわかった。

（事例 3）令和元年 6 月 21 日午後 8 時半頃から 30 日午前 11 時頃にかけて計 9 日間、母が自宅マンションに児童（2 歳 11 か月）を放置し、低栄養状況下の低体温及び脱水により死亡させた事例。母は児童の上のきょうだいに当たる第 1 子を出産後まもなく養子縁組に出しており、第 1 子、本児ともに妊娠週数 30 週前後で妊娠届を提出している。また、パートナーとは未入籍で支援がなかった。さらに、本児は胎児の時点で腹壁破裂と診断されており、産後の養育に支援を必要とする状況が考えられたため、区役所が継続的に支援を行ってきた。児の幼児健診が未受診であったことから母とやり取りを繰り返していたが、市内で居所を頻繁に移すなど、生活の実態が捉えにくい状況の中、事件が発生した。

(4)提言の概要

(事例 1)・同居家族がいても支援を受けられない妊産婦への支援のあり方の再考

- ・対象者支援のあり方の再考
- ・多胎妊娠・多胎育児世帯への支援の取り組み
- ・関係機関との情報共有の強化
- ・予期しない妊娠からの児童虐待を防ぐための取り組み

(事例 2)・悩みを抱える方に対する相談窓口の周知強化・充実

(事例 3)・特定妊婦に関する要保護児童対策地域協議会台帳登録の判断基準の明確化

- ・状況の変化に合わせた再アセスメント
- ・乳幼児健診等の未受診者の確認方法の再考
- ・支援対象者に関する情報収集体制の再考
- ・情報共有ルール of 整理

2. 問題解決に向けた提言とそれに対する具体的な取り組み

別紙資料 3-2 及び 3-3 参照

(ご参考) 検証の経過

令和元年	7月12日	措置・里親審査部会 (検証対象事例の概要や検証の進め方等を事務局より説明)
	9月20日	措置・里親審査部会 (事例1について、事実経過等の確認)
令和2年	1月10日	措置・里親審査部会 (事例1について、ヒアリング結果の報告及び課題の整理)
	3月17日	措置・里親審査部会 (事例1について、改善策の検討及び検証報告書案の協議 事例2について、概要説明)
	7月10日	措置・里親審査部会 (事例1について、検証報告書案の協議 事例2について、事実経過の確認、課題の整理および改善策の検討)
	9月4日	措置・里親審査部会 (事例1及び2について、検証報告書の決定 事例3について、事例概要等の確認)
	11月12日	措置・里親審査部会 (事例3について、事実経過の確認)
令和3年	1月9日	措置・里親審査部会 (事例3について、事実経過の確認及び課題の整理)
	3月12日	措置・里親審査部会 (事例1及び2について、提言を受けての具体的な取り組みの報告 事例3について、改善に向けた提言の検討)
	5月14日	措置・里親審査部会 (事例3について、検証報告書案の協議)
	7月9日	措置・里親審査部会 (事例3について、検証報告書の決定)
	9月	社会福祉審議会児童福祉専門分科会 (事例1～3について、検証報告書完成の報告)
令和4年	1月14日	措置・里親審査部会 (事例3について、提言を受けての具体的な取り組みの報告)